6月は「環境月間」

日本では、6月を環境月間とし、環境保全について考え、意識を高める期間としています。

また、国際的にも環境問題への関心が高まり、日本でも「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す」方針が示されました。

町としても、この環境問題への取組みを推進するため、昨年5月に『ゼロカーボンシティ宣言』をしました。

今後は、脱炭素選考地域への選定に向けた官民連携による事業を展開していく準備を進めていきます。

環境問題の解決には、私たち一人ひとりの生活や行動を見直すことが必要です。

環境月間を機会に、私たちを取り巻く身近な環境問題について考え、環境にやさしいライフスタイルを実践してみましょう。

今月号は、環境に配慮した取組みなどについて紹介します。

私たちにできることを考えましょう！

私たちは暮らしの中で、さまざまな商品やサービスを購入し、または使用し、不要になったものは、捨てています。

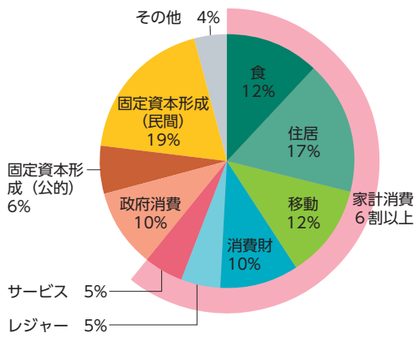
また、商品やサービスを提供するにあたり、製造や加工、流通などの段階でも、ごみを処理する過程があり、CO_2などの温室効果ガスが排出されています。

今のペースで温室効果ガスが排出され続け、地球温暖化が進むと、さまざまな気候変動の影響が生じることが予測されます。未来のために、地球温暖化を食い止め、その影響を小さくしていく必要があります。

環境省の資料によると、日本国内における温室効果ガス排出量の消費ベースでは、全体の６割以上が家計消費によるというデータが掲載されています。

このように、私たちのライフスタイルが、気候変動などの環境問題に大きな影響を与えていることが見えてきます。

消費ベース（カーボンフットプリント）から見た我が国の温室効果ガス排出源の内訳



▲令和３年版 環境・循環型社会・生物多様性白書（抜粋）

環境にやさしいライフスタイルを実践しましょう！

毎日の生活の中で取組めることは、たくさんあります。私たち一人ひとりが、環境に配慮した行動により温室効果ガスを削減することができます。

小さな取組みを積み重ねることが大切です。未来のために、できることから始めましょう。

環境に優しい製品

事業者
リサイクルしやすい製品を開発し、再エネを利用しよう。

エネルギーの削減

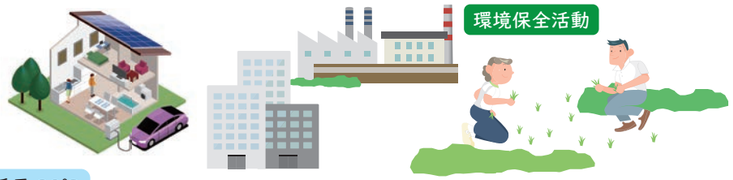
事業者
エネルギー使用量を把握し、削減しよう。

環境保全活動への参加

町民・事業者
地域の環境活動などに参加しよう。

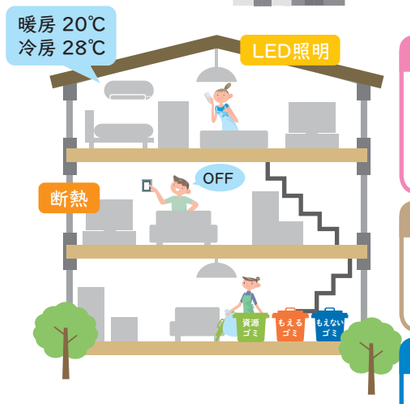
地産地消

町民
輸送コストの低い地元産の商品を購入しよう。
事業者
地元の食材を提供しよう。



食品ロスの削減

町民
必要な物を必要な分だけ買うようにしよう。
事業者
フードバンクへの協力や保存を工夫し、食品ロスを減らそう。



省エネ・省資源

町民・事業者
LEDの導入や適度な冷暖房など、電気・ガスの省エネや節水などの省資源に努めよう。

住宅などの建築物

町民・事業者
太陽光発電などの再エネ設備や省エネ設備を取り入れよう。

次世代自動車

町民・事業者
EV(電気自動車)などを利用し、環境に配慮した移動をしよう。

3R（スリーアール Reduce・リデュース Reuse・リユース Recycle・リサイクル）

町民
ごみをきちんと分別し、資源化やごみの減量に取り組もう。
事業者
ごみの減量化や再資源化に適した製品を開発・製造しよう。

自転車や徒歩での移動

町民・事業者
自転車や徒歩での移動を取り入れよう。

※環境省（COOL CHOICE）『ゼロカーボンアクション30』を参考に作成

ごみの分別できていますか？

ごみの分別やリサイクルを実践することで、省エネや環境保全などにつながります。また、ごみの分別を行うことで、燃やした場合に排出される温室効果ガスと、リサイクルされずに新しく商品を作った時の燃料消費や資源消費に伴う温室効果ガスを減らすことができます。

「ごみ分別アプリ」をご利用ください

よくある家庭ごみの出し方の疑問を解決し、身近なところから環境に配慮した取組みができます。

無料でご利用できますので、スマートフォンやタブレット端末を使って、ぜひご活用ください。

インストールはこちら

Android用　iPhone用

■アプリの主な機能紹介

○ごみ分別辞典　○ごみの出し方　○カレンダー
○アラート設定　○よくある質問　○お知らせ